

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

平成28年度 ニッケ入社式 訓辞

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。
ニッケグループを代表して心よりお祝い申し上げます。今年も希望に満ち、エネルギーに溢れた皆さんとの出会いを大変嬉しく思います。私は、この2月、佐藤会長よりバトンを受け継ぎ、創立120周年にあたる本年に社長に就任いたしました。

この様な節目の年に、ニッケグループに入社して頂いたのも、何かの縁と感じており、感慨深いものがあります。



さて、安倍政権による経済政策のスタートから、3年が経過しました。日銀の大幅な金融緩和による円安や株価の上昇等により輸出を中心とした大手企業の業績は大きく改善し、またインバウンド効果による国内消費拡大の恩恵を受け、業績が好調に推移した業種もありました。

しかしながら、原油安、中国経済の大幅な下振れ、為替相場の急激な変動、世界的なテロの拡がりなど、事業経営にとって予断を許さない状況となっています。

こうした環境下であればこそ、我々は明確な経営理念と経営方針を持って活動しなければなりません。

まず、グループの経営理念、特に「情熱と誇りを持ってチャレンジしていきます」についてお話しをしたいと思います。

創立120周年(2016年度)の節目に向けた羅針盤として、2009年度よりスタートした「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」では、「繊維」「非繊維」の意識をなくし、現在の、衣料繊維、産業機材、人とみらい開発、生活流通、の4つの事業すべてを「本業」と位置付け、それぞれのさらなる成長を目指してきました。経営理念である「人と地球にやさしく、あったかい企業グループ」に合致し、市場(顧客)に求められるビジネスであれば、積極的に事業開発を行ってきました。

NEWS RELEASE

今回「NN120 ビジョン」に続く、次の10年間の方向性、企業像、経営戦略を示した「リニューアル・ニッケ 130 ビジョン」でも、経営理念についてはNN120 ビジョンを踏襲し、“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りを持ってチャレンジして行きます”を再度掲げています。

これから先の10年を考えると、当社を取り巻く環境はこれまでの10年以上に大きく変化すると思われまふ。我々ニッケグループが激変する市場での戦いに勝ち続け、130年、140年と存続するためには、現状をしっかりと認識し、市場の変化に対応し、自ら変革することが不可欠です。

私どもの経営理念である「情熱と誇りを持ってチャレンジする」、この「チャレンジ」とは、自ら「考え」「行動に示し」「変革していく」ことを示しています。競争環境のなかで、勝ち残る唯一の手段は、商品・サービスの差別化です。「VOC (Voice Of Customer)」を戦略化し、常に未開の分野に目を向け、「高機能商品」と「地域NO.1サービス」の開発と提供へチャレンジし続けることです。当社グループ120年の歴史は、このたゆまない「変革」へのチャレンジの歴史以外、何ものでもありません。

是非、皆さんにも燃えるようなチャレンジをお願いしたいと思っています。

さて、今日から、皆さんが、グループの一員となって、さまざまな仕事に就くわけですが、仕事をするにあたって、大切にしたい、3つの事をお話したいと思います。

まず1つ目は「世間の流れに好奇心をもって先を予見すること」です。

溢れる情報の中から適確な情報を選び、それを基に将来を予測することが収益を左右します。その予測に基づき、「誰も踏み出さない、見つけられなかった未開の分野」を創出してこそ、利益の源泉があります、漠然と目の前のことをこなしているのではなく、常に何故、何を、意識し、高い認識力と好奇心を持って、先を読むことを心がけてください。

2つ目は「グローバルな視点で物事をとらえること」です。

自分の担当する事業について、常に「宇宙目線（世界エリア）」「飛行機目線（国内）」「鳥目線（地域）」と、俯瞰する高さを変え、眺めてください。高さによって見え方・いわゆる事業戦略が変わってきます。そのような意識を持って事業を、仕事を眺めてください。そして、おもしろい市場をみつけたら、どんどん世界へ出てチャレンジしてください。当社グループは、海外進出を今後の重要な課題ととらえています。

NEWS RELEASE

3つ目は、「企業としての社会的責任を果たすこと」と、「コンプライアンスの徹底」です。

これは会社の理念や日々の一人一人の心がけによって磨かれるものです。すぐに醸成されるものではありません。ニッケグループの社員であることを忘れず「愚直さ」と「規律」を持って行動してください。

最後になりますが、ボトムアップで市場の声を聞き、年功序列ではなく若手にも大いにチャンスを与え、根拠ある提案はどンドン形にしてもらおう。ニッケはそんな風土を持つ企業です。閉塞感を打破し、新しい価値を創造するためには、皆さんの既成概念に捉われない新しい視点や若い力が必要です。体調管理は怠らず、小さなことから結構ですから、目標を立てて仕事に取り組んでください。皆さんの活躍を大いに期待しています。

ニッケグループ代表

日本毛織株式会社

取締役社長 富田一弥

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 人財戦略室

室長 松本 佳也

TEL:06-6205-6620